

ボランティアの宿に園舎を

熊本市・廣福寺 東北支援の経験生かす

熊本市東区の廣福寺（宇治寛住職）は、隣接する廣福保育園の2階ホールをボランティアの宿泊場所として提供を始めた（写真）。



同寺は熊本市の中心部や益城町など被害の大きかった地域にも比較的近い。本堂の壁が剥落するなどの被害を受けたが、園舎は5年前に建て替えていて損傷を免れた。その園舎で地震発生直後から避難者を受け入れ、最大時は住民80人が身を寄せた。10日余りで全員が帰宅したため、当面のボランティア受け入れを決めたという。

宗門校の福岡・筑紫女

学園大学で教員を務める宇治和貴副住職（40）は「学生らと東日本大震災

の被災地で活動した経験から、ボランティアを支える場所、安心してボランティアができる環境づくりが必要なことを学んだから」と話す。

5月1日から2日間は、東北の被災地で交流のあった支援団体「SAVE I W A T E」と、同大学の学生ボランティアグループが園舎を利用して、炊き出しなどのボランティア活動を実施した。

施設利用の問い合わせは宇治和貴副住職 ☎09566230086。